

令和7年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	広島県立大竹高等学校	対象となる主な学年	全学年
取組事例名	「 生徒会を中心としたボランティア活動 」		

◆ 生徒の実態及び取組を通して育てたい生徒像	
生徒の実態	取組を通して育てたい生徒像
<ul style="list-style-type: none"> 地域のボランティア活動や行事等に積極的に参加し、地域から高い評価を受けることも多い。 素朴で人懐っこく素直な面がある。 授業アンケートの結果、半数以上の生徒がボランティア活動に参加してみたいと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や行動の仕方を身に付けるようにする。 集団や人間関係の課題を解決するために、合意形成や意思決定をできるようにする。 主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。



◆ 取組の具体的内容	
取組を実施する意図及びねらい	
<ul style="list-style-type: none"> 異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画をたて役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組む態度を育てる。 	
取組の流れ・創意工夫・生徒の変容等	
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ジュニアスポーツ教室 1名参加 第11回大竹障がい者ふれあいスポーツ大会 8名参加 薬物乱用防止チラシ配り 20名参加 大竹市平和祈念被爆80年原爆死没者追悼イベント 23名参加 第43回大竹市平和祈念式典 5名参加 大竹中学校への学習サポート など <p>【取組の流れ】</p> <p>本校は地域などよりボランティア活動への参加依頼を多く受ける。要望を受けた際、生徒会の生徒を中心に、希望者を募りボランティアに参加する。引率の教員はいるが、基本的には生徒がコミュニケーションを取りながら、活動に参加していく。</p> <p>【活動に参加した生徒の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> 最初は緊張したけど、「ありがとう」や「また来てね」と言ってもらって、とても嬉しかった。また参加したいと思う。(1年生男子) 平和祈念式典に参加し、平和の大切さを感じることができた(2年生女子) <p>【生徒の変容】</p> <p>地域の方などと生徒自身が連携を取りながら、主体的に活動を行った結果、お褒めの言葉を多く受けることができた。その結果、自己肯定感が高まった生徒が多く見られた。自主的にボランティア活動などに参加し、コミュニケーションをとれる生徒も増加した。学校生活でも、クラスの中でリーダーシップを発揮する場面が増加した。【自己存在感の感受】</p>	

◆ 成果(○)と課題及び今後に向けて(●)	
<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度より多くの生徒がボランティアに参加することができた。 ○全校生徒の51.7%の生徒がボランティアに参加したいという思いを持っており、参加した生徒の100%がまた参加したいと回答している。 ●ボランティアに参加希望を持っていても、参加できていない生徒もおり、それらの状況を把握し、阻害要因を探る必要がある。 	